

とちぎユースワークカレッジ ニュースレター vol.7

第4回 とちぎヤングスポーツフェスティバル

カレッジの赤組が優勝しました!!



2011年5月25日(水)

錦中央公園にて第4回目となるとちぎヤングスポーツフェスティバルを開催しました。

季節外れの台風が接近し、すっきりしない天気が続く中、奇跡的な快晴に恵まれ、県内の若者支援団体総勢70名を超える方々が参加してくださいました。

第24回スポーツレクリエーション祭のマスコット、とちまる君の応援もあり、和やかな雰囲気の中で、参加者は一生懸命に競技に取り組み、熱い戦いが繰り広げられました。その結果接戦の末、今大会は前回に引き続き赤組の勝利となりました。



このイベントを開催するにあたり、多くの助言をくださった皆様及び参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

協力： ありんこ保育園様
城山地区体育協会様
錦地区体育協会様
横松盛人様

赤組

とちぎ若者サポートステーション、とちぎ青少年自立援助センター、
とちぎユースワークカレッジ
＜ 実行委員会より ＞

◆ 最初は正直、実行委員を受ける気はありませんでした。しかし、カレッジに入った目的や自分が3期目であることを冷静に考え、実行委員長に立候補しました。今までの中で一番実行委員の人数や準備期間が少ない大会で、本当に開催できるのか、焦りや不安でいっぱいでしたが、スタッフの力添えや実行委員の皆の頑張りもあり無事開催することができました。参加していただいた各団体の皆様、またご支援ご協力くださった各団体の皆様に対し改めてお礼を申し上げます。今回の経験を自信につなげていきたいと思っております。本当にありがとうございました。
(実行委員長 川田佳史)

◆ 震災の影響で始業が遅れた中、準備が始まりました。開催まで時間がなく、さらに実行委員の人数も少ない中、スタッフを始め、各方面の方々のご協力により、無事開催にこぎつけられたことに、感謝の念でいっぱいです。当日は天候にも恵まれ、参加者に大きな事故も怪我もなく、盛況のうちに終わることができました。関わってくださった皆様に、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。
(副実行委員長 小林弘典)

白組

KTC 中央高等学院宇都宮キャンパス、栃木県若年者支援機構しごとや

クラス運営

クラス運営は、カレッジ生が全員参加し、お互いの理解や関係性を深めていく時間です。



2011年5月20日(金)

農業プログラムとは別に、田んぼでの作業をおこないます。毎日食べているごはんですが、普段じっくり考えることが少ないお米。田植えから収穫までをクラス全員で取り組み、自然とふれあい、命のつながりや人との関わり、これからの暮らしを考えます。最初の授業では、講師の平出さんが育てた苗を、みんなで手作業やトラクターで植えました。どろどろの田んぼに足をとられ、こけそうになりながら、何とか田植えをすることができました。秋の収穫が楽しみです。

社会教養

社会への一步を踏み出す前に、基礎的な知識とルールを学ぶ授業です。



2011年5月24日(月)

「あいさつをしよう」の授業です。道で知人に会ったとき、どのようなあいさつをしますか？偶然ばったりと知人に会くと、心の準備がないだけに思わず目をそらしてしまったり、ちゃんとあいさつできなかつたり、「あーあいさつできなかつた…」そんな思いは誰にでもあるものです。でも、そんな時に、笑顔で言葉を交わせるために会話のロールプレイをおこないました。あいさつしたのに返事をしてもらえなかつたら…立場が違えば見方も違うことも学びました。

環境

環境教育をとおして様々な考え方・生き方・働き方にふれ、前に進むためのきっかけを見つける授業です。



2011年5月17日(火)

第4期の環境プログラムは、月1回でおこないます。第1回目は「ネイチャーツアー」の授業。春の息吹と集団での自然体験の問題点、体験をとおして感じることをテーマに、戦場ヶ原へ行ってきました。雨から晴れへと変わる天気の中、講師の金井さんの自然解説を聞きながらのハイク。戦場ヶ原の由来・国立公園での禁止事項・水鳥の生息地としてラムサール条約で保護されている湿原、自然と人がかかわる上での問題点などについてお話しをききました。楽しみながらもたくさんの学びがあった授業でした。

農業

自分たちの手足を使って農作物を育てながら暮らしに密接する「食」について改めて考えを学ぶ授業です。



2011年5月28日(水)

農業プログラムの中には「お弁当の日」があります。お弁当の日には、自分でお弁当を作って持ってくることにしています。自分で作ってみることで、今まで気がつかなかった新しい発見があります。お弁当を作ったことがない学生もいるので、まずはお弁当の作り方の授業です。市貝で野菜を育てている爽菜農園の小野寺さんをお招きし、旬の野菜を使ったお弁当の作り方を教えていただきました。

とちぎからボランティア 2 万人！に参加

福島県いわき市でボランティア活動してきました

2011 年 6 月 7 日(火)

この企画は、被災地に向け「栃木県の 200 万県民のうち、1%にあたる 2 万人を当面の目標に、地域、職場、サークル、仲間など団体ボランティアを派遣しよう」と、NPO 法人とちぎボランティアネットワークが主催しているものです。

今回、とちぎユースワークカレッジとして、福島県いわき市へスタッフ 5 名、学生 2 名、講師 1 名で参加をしてみました。活動をする地域は、小名浜。この地域での主な作業内容は、海岸沿いを走る幹線道路の側溝の泥かき(砂かき)でした。



この場所で参加した作業人数は、約 30 名。作業は、曇り空で動きやすい環境のもと、順調に進み、当初準備していた土嚢袋 500 個は午前中で使い切るほどでした。午後には、非常に暑い中の作業で、若干ペースが落ちましたが、15 時で予定していた場所まで完了しました。側溝の掃除は、地味な活動ではありますが、被災されても住み続けている地元の人たちが本当にやってもらいたい支援なのだと思います。

復興には 10 年かかるといわれています。長い時間が必要となりますが、とちぎユースワークカレッジも引き続き支援をおこないます。

詳しくは、<http://www.311alltochigi.com/>

第 4 期 第 1 回目の保護者会を開催



2011 年 6 月 9 日(木)

第 4 期 1 回目の保護者会を開催しました。

授業風景の写真を見ていただきながらの活動報告に加え、今回は榎木学長による、保護者の皆様に向けた「勉強会」を企画させていただきました。テーマは「家族関係について」。皆様とても真剣に耳を傾けてくださいました。

保護者の皆様と直接お話できる時間は、私たちスタッフにとって、とても貴重な機会です。お忙しい中お集まりいただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。次回の保護者会は、8 月 11 日(木)を予定しています。



2011年6月22日(日)

宇都宮市内で「フェスタ my うつのみや」が開催されました。とちぎユースワークカレッジは、日頃の活動の展示をおこなったり、在学生と一緒に作ったミネストローネを販売したりしました。当日は曇り空の中、オリオン通りは多くの人で埋め尽くされていました。ブースでは、足を止めて展示資料に目を通したり、パンフレットを手にしたりする方もいて、多くの方に活動を知っていただくことができました。

在学生は前日準備や当日の販売などに参加、また、カレッジを修了した学生も当日手伝いに来てくれました。このようにより多くの方に情報提供ができるよう、そして学生同士が交流できる場として、今後ともイベントなどに参加します。

ホームページが新しくなりました！



2011年6月23日(月)

とちぎユースワークカレッジのホームページをリニューアルしました。

トップページにはさまざまな情報を掲載しています。イベント情報の欄には、とちぎユースワークカレッジの実施団体である、とちぎユースサポーターズネットワークの情報も掲載しています。これから若者に関する情報等も随時更新・掲載してまいりますので、ぜひご覧ください。

これからの予定

★ 遠足

2011年7月8日(金)

カレッジの遠足は、決められた予算の中で、学生全員で内容を決めていきます。今回は、さいたま市にある「鉄道博物館」にいきます。ご報告をお楽しみに。

★ 地域活性プログラム、福祉プログラムの実施

地域活性プログラムの第4期初の授業「地域の伝統にふれる」を、7月17日(日)に西原地区で実施します。

また、福祉プログラム「ボランティアを学ぶ」は、ボランティアセンター職員の八木さんのもと6月23日(木)に実施します。なお、活動報告はホームページでもおこないます。

とちぎユースワークカレッジ ニュースレターVOL.7 2011年6月17日

栃木県委託・若年無業者支援事業

とちぎユースワークカレッジ

栃木県宇都宮市宮園町8-2 松島ビル4F TEL・FAX: 028-638-5502

HP: <http://www.youthworkcollege.jp/>

過去発行分はホームページでご覧になれます [担当: 羽生]

実施団体 特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク

